

**1**

次の計算をしましょう。

(1)  $768 \div 24$

(2)  $238 \div 34$

**2**

次の計算をしましょう。

(1)  $14 \times 1.7$

(2)  $3.8 \times 1.3$

(3)  $9.2 \times 0.6$

(4)  $3.84 \times 1.25$

(5)  $72 \div 0.3$

(6)  $5.76 \div 1.6$

(7)  $6.64 \div 0.8$

(8)  $12.56 \div 3.14$

※次のページにも、問題があります。

3  に当てはまる不等号を書きましょう。

(1)  $7.3 \times 0.8$    $7.3$

(2)  $1.4 \div 0.7$    $1.4$

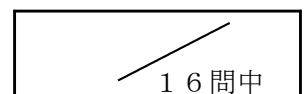
4 次の計算をしましょう。

(1)  $\frac{2}{3} + \frac{1}{5}$

(2)  $\frac{6}{7} - \frac{3}{4}$

(3)  $2\frac{1}{7} + 1\frac{2}{7}$

(4)  $3\frac{3}{4} - 2\frac{1}{2}$

 16問中

1

次の計算をしましょう。

(1)  $768 \div 24$

$$\begin{array}{r} 32 \\ 24 \overline{) 768} \\ \underline{72} \phantom{0} \\ 48 \\ \underline{48} \\ 0 \end{array}$$

32

(2)  $238 \div 34$

$$\begin{array}{r} 7 \\ 34 \overline{) 238} \\ \underline{238} \\ 0 \end{array}$$

7

2

次の計算をしましょう。

(1)  $14 \times 1.7$

$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 1.7 \\ \hline 98 \\ 140 \\ \hline 23.8 \end{array}$$

23.8

(2)  $3.8 \times 1.3$

$$\begin{array}{r} 3.8 \\ \times 1.3 \\ \hline 114 \\ 380 \\ \hline 4.94 \end{array}$$

4.94

積の小数点は、かけられる数とかける数の小数部分のけた数の和と同じになるようにうちます。

(3)  $9.2 \times 0.6$

$$\begin{array}{r} 9.2 \\ \times 0.6 \\ \hline 5.52 \end{array}$$

5.52

(4)  $3.84 \times 1.25$

$$\begin{array}{r} 3.84 \\ \times 1.25 \\ \hline 1920 \\ 768 \\ 384 \\ \hline 4.800 \end{array}$$

4.8

商の小数点は、わられる数の移した小数点にそろえてうちます。

(5)  $72 \div 0.3$

$$\begin{array}{r} 240 \\ 0.3 \overline{) 72.0} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

240

(6)  $5.76 \div 1.6$

$$\begin{array}{r} 3.6 \\ 1.6 \overline{) 5.76} \\ \underline{48} \phantom{0} \\ 96 \\ \underline{96} \\ 0 \end{array}$$

3.6

(7)  $6.64 \div 0.8$

$$\begin{array}{r} 8.3 \\ 0.8 \overline{) 6.64} \\ \underline{64} \phantom{0} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$

8.3

(8)  $12.56 \div 3.14$

$$\begin{array}{r} 4 \\ 3.14 \overline{) 12.56} \\ \underline{1256} \\ 0 \end{array}$$

4

※次のページにも、問題があります。

3  に当てはまる不等号を書きましょう。

(1)  $7.3 \times 0.8$    $7.3$

かけ算では、1より小さい数をかけると、積はかけられる数より小さくなります。

(2)  $14 \div 0.7$    $14$

わり算では、1より小さい数でわると、商はわられる数より大きくなります。

4 次の計算をしましょう。

(1)  $\frac{2}{3} + \frac{1}{5}$  (2)  $\frac{6}{7} - \frac{3}{4}$

分母のちがう分数のたし算、ひき算は、通分してから計算します。

$$\frac{2}{3} + \frac{1}{5} = \frac{10}{15} + \frac{3}{15} = \frac{13}{15}$$

$$\frac{13}{15}$$

$$\frac{6}{7} - \frac{3}{4} = \frac{24}{28} - \frac{21}{28} = \frac{3}{28}$$

$$\frac{3}{28}$$

(3)  $2\frac{1}{7} + 1\frac{2}{7}$

$$2\frac{1}{7} + 1\frac{2}{7} = \frac{15}{7} + \frac{9}{7} = \frac{24}{7}$$

$$\frac{24}{7} \left[ 3\frac{3}{7} \right]$$

または、

$$2\frac{1}{7} + 1\frac{2}{7} = 3\frac{3}{7}$$

(4)  $3\frac{3}{4} - 2\frac{1}{2}$

$$3\frac{3}{4} - 2\frac{1}{2} = 3\frac{3}{4} - 2\frac{2}{4} = \frac{15}{4} - \frac{10}{4}$$

$$\frac{5}{4} \left[ 1\frac{1}{4} \right]$$

$$= \frac{5}{4}$$

または、

$$3\frac{3}{4} - 2\frac{2}{4} = 1\frac{1}{4}$$

1

次の問題に答えましょう。

(1) 計算しましょう。

①  $23 \times 3.7$

②  $3.4 \times 2.6$

③  $0.4 \times 3.5$

④  $7.3 \times 0.8$

⑤  $14 \div 0.7$

⑥  $30 \div 0.6$

⑦  $9.8 \div 1.4$

⑧  $40.8 \div 1.7$

⑨  $4.2 \div 0.4$

⑩  $2.38 \div 2.8$

※次のページにも、問題があります。

(2) 次の筆算で、正しく計算できているものには○を、まちがっているものには、正しい答えを書きましょう。

① 
$$\begin{array}{r} 0.6 \\ \times 2.7 \\ \hline 42 \\ 12 \\ \hline 1.62 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 0.61 \\ \times 2.4 \\ \hline 244 \\ 122 \\ \hline 14.64 \end{array}$$

**2** 次の計算をしましょう。

(1)  $\frac{1}{3} + \frac{5}{8}$

(2)  $\frac{5}{6} - \frac{1}{5}$

(3)  $\frac{2}{3} + \frac{1}{12}$

(4)  $\frac{13}{15} - \frac{2}{5}$

(5)  $2\frac{1}{4} + 1\frac{2}{3}$

(6)  $1\frac{1}{6} - \frac{3}{5}$

(7)  $\frac{1}{10} + 0.7$

(8)  $1.4 - \frac{7}{10}$

20問中

1

次の問題に答えましょう。

(1) 計算しましょう。

①  $23 \times 3.7$

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 3.7 \\ \hline 161 \\ 69 \\ \hline 85.1 \end{array}$$

85.1

②  $3.4 \times 2.6$

$$\begin{array}{r} 3.4 \\ \times 2.6 \\ \hline 204 \\ 68 \\ \hline 8.84 \end{array}$$

8.84

③  $0.4 \times 3.5$

$$\begin{array}{r} 0.4 \\ \times 3.5 \\ \hline 20 \\ 12 \\ \hline 1.40 \end{array}$$

1.4

④  $7.3 \times 0.8$

$$\begin{array}{r} 7.3 \\ \times 0.8 \\ \hline 584 \end{array}$$

5.84

⑤  $14 \div 0.7$

$$\begin{array}{r} 20 \\ 0.7 \overline{) 14.0} \\ \underline{14} \phantom{0} \\ 0 \end{array}$$

20

⑥  $30 \div 0.6$

$$\begin{array}{r} 50 \\ 0.6 \overline{) 30.0} \\ \underline{30} \phantom{0} \\ 0 \end{array}$$

50

⑦  $9.8 \div 1.4$

$$\begin{array}{r} 7 \\ 1.4 \overline{) 9.8} \\ \underline{9.8} \\ 0 \end{array}$$

7

⑧  $40.8 \div 1.7$

$$\begin{array}{r} 24 \\ 1.7 \overline{) 40.8} \\ \underline{34} \phantom{0} \\ 68 \\ \underline{68} \\ 0 \end{array}$$

24

⑨  $4.2 \div 0.4$

$$\begin{array}{r} 10.5 \\ 0.4 \overline{) 4.20} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

商の小数点は、わられる数の移した小数点にそろえてうちます。

10.5

⑩  $2.38 \div 2.8$

$$\begin{array}{r} 0.85 \\ 2.8 \overline{) 2.380} \\ \underline{224} \phantom{0} \\ 140 \\ \underline{140} \\ 0 \end{array}$$

0.85

※次のページにも、問題があります。

(2) 次の筆算で、正しく計算できているものには○を、まちがっているものには、正しい答えを書きましょう。

$$\begin{array}{r} ① \quad 0.6 \\ \times 2.7 \\ \hline 42 \\ 12 \\ \hline 1.62 \end{array}$$

○

$$\begin{array}{r} ② \quad 0.61 \\ \times 2.4 \\ \hline 244 \\ 122 \\ \hline 14.64 \end{array}$$

1.464

積の小数点は、かけられる数とかける数の小数部分のけた数の和と同じになるようにうちます。

2

次の計算をしましょう。

(1)  $\frac{1}{3} + \frac{5}{8}$

分母のちがう分数のたし算、ひき算は、通分してから計算します。

$$\frac{1}{3} + \frac{5}{8} = \frac{8}{24} + \frac{15}{24} = \frac{23}{24}$$

$\frac{23}{24}$

(2)  $\frac{5}{6} - \frac{1}{5}$

$$\frac{5}{6} - \frac{1}{5} = \frac{25}{30} - \frac{6}{30} = \frac{19}{30}$$

$\frac{19}{30}$

(3)  $\frac{2}{3} + \frac{1}{12}$

計算の答えが約分できるときは、約分します。

$$\frac{2}{3} + \frac{1}{12} = \frac{8}{12} + \frac{1}{12} = \frac{9}{12} = \frac{3}{4}$$

$\frac{3}{4}$

(4)  $\frac{13}{15} - \frac{2}{5}$

$$\frac{13}{15} - \frac{2}{5} = \frac{13}{15} - \frac{6}{15} = \frac{7}{15}$$

$\frac{7}{15}$

(5)  $2\frac{1}{4} + 1\frac{2}{3}$

$$2\frac{1}{4} + 1\frac{2}{3} = 2\frac{3}{12} + 1\frac{8}{12} = 3\frac{11}{12}$$

$3\frac{11}{12}$

(6)  $1\frac{1}{6} - \frac{3}{5}$

$$1\frac{1}{6} - \frac{3}{5} = 1\frac{5}{30} - \frac{18}{30} = \frac{35}{30} - \frac{18}{30} = \frac{17}{30}$$

$\frac{17}{30}$

(7)  $\frac{1}{10} + 0.7$

$$\frac{1}{10} + 0.7 = \frac{1}{10} + \frac{7}{10} = \frac{8}{10} = \frac{4}{5}$$

$\frac{4}{5}$

(8)  $1.4 - \frac{7}{10}$

$$1.4 - \frac{7}{10} = \frac{14}{10} - \frac{7}{10} = \frac{7}{10}$$

$\frac{7}{10}$



1

次の問題に答えましょう。

(1) ( ) の中の数の公倍数を、小さい順に2つ求めましょう。

① (3, 4)

② (6, 18)

(2) ( ) の中の数の最小公倍数を求めましょう。

① (2, 6, 9)

② (4, 9, 12)

(3) ( ) の中の数の公約数をすべて書きましょう。

(18, 24)

(4) ( ) の中の数の最大公約数を求めましょう。

① (16, 24)

② (32, 80)

2

次の問題に答えましょう。

(1) 約分をしましょう。

①  $\frac{5}{15}$

②  $\frac{8}{32}$

③  $\frac{12}{42}$

④  $\frac{15}{60}$

(2) 通分をしましょう。

①  $\left[ \frac{1}{3}, \frac{2}{5} \right]$

②  $\left[ \frac{5}{4}, \frac{7}{18} \right]$

※次のページにも、問題があります。

(3) 計算をしましょう。

①  $\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$

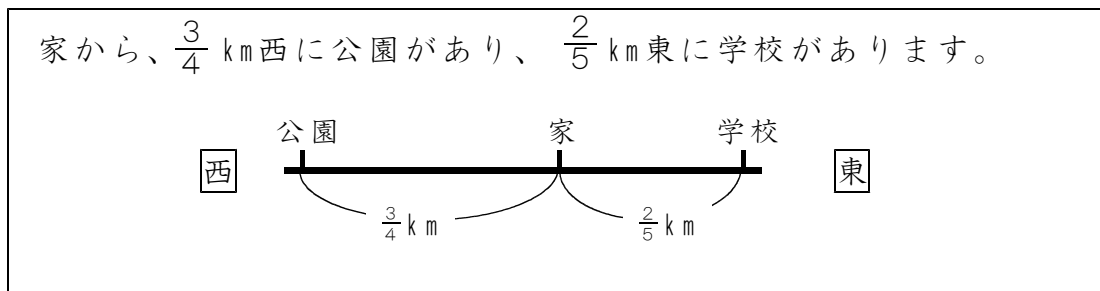
②  $1\frac{1}{5} + \frac{4}{15}$

③  $\frac{5}{4} - \frac{5}{6}$

④  $\frac{11}{10} - \frac{14}{25}$

3

次の問題に答えましょう。



(1) 公園から学校までは、何kmありますか。

式

答え

(2) 家から公園までのきょりと家から学校までのきょりでは、どちらがどれだけ長いですか。

答え

20問中

1

次の問題に答えましょう。

(1) ( ) の中の数の公倍数を、小さい順に2つ求めましょう。

① (3, 4)

12, 24

3の倍数...3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24

4の倍数...4, 8, 12, 16, 20, 24

② (6, 18)

18, 36

6の倍数...6, 12, 18, 24, 30, 36

18の倍数...18, 36

公倍数のうちで、いちばん小さい数が最小公倍数です。

(2) ( ) の中の数の最小公倍数を求めましょう。

① (2, 6, 9)

18

2の倍数...2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18

6の倍数...6, 12, 18

9の倍数...9, 18

② (4, 9, 12)

36

4の倍数...4, 8, 12, 16, 20, 24, 28, 32, 36

9の倍数...9, 18, 27, 36

12の倍数...12, 24, 36

(3) ( ) の中の数の公約数をすべて書きましょう。

(18, 24)

1, 2, 3, 6

18の約数...1, 2, 3, 6, 9, 18

24の約数...1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 24

公約数のうちで、いちばん大きい数が最大公約数です。

それぞれの数の共通な約数が公約数です。

(4) ( ) の中の数の最大公約数を求めましょう。

① (16, 24)

8

16の約数...1, 2, 4, 8, 16

24の約数...1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 24

② (32, 80)

16

32の約数...1, 2, 4, 8, 16, 32

80の約数...1, 2, 4, 5, 8, 10, 16, 20, 40, 80

2

次の問題に答えましょう。

分母と分子を、それらの公約数でわって、分母の小さい分数にすることを、約分するといいます。

(1) 約分をしましょう。

①  $\frac{5}{15}$

$\frac{1}{3}$

分母と分子を公約数の5でわります。

②  $\frac{8}{32}$

$\frac{1}{4}$

分母と分子を公約数の8でわります。

③  $\frac{12}{42}$

$\frac{2}{7}$

分母と分子を公約数の6でわります。

④  $\frac{15}{60}$

$\frac{1}{4}$

分母と分子を公約数の15でわります。

(2) 通分をしましょう。

①  $\left[ \frac{1}{3}, \frac{2}{5} \right]$

3と5の最小公倍数は、15になるので、15を共通な分母として通分します。

$\frac{5}{15}, \frac{6}{15}$

②  $\left[ \frac{5}{4}, \frac{7}{18} \right]$

4と18の最小公倍数は、36になるので、36を共通な分母として通分します。

$\frac{45}{36}, \frac{14}{36}$

※次のページにも、問題があります。

(3) 計算をしましょう。

①  $\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$

$$\frac{2}{3} + \frac{1}{4} = \frac{8}{12} + \frac{3}{12} = \frac{11}{12}$$

分母がちがう分数のたし算は、通分して同じ分母の分数になおし、単位分数の幾つ分として考え計算します。

$$\frac{11}{12}$$

②  $1\frac{1}{5} + \frac{4}{15}$

$$1\frac{1}{5} + \frac{4}{15} = 1\frac{3}{15} + \frac{4}{15} = 1\frac{7}{15}$$

答えが約分できるときは、約分をします。

$$1\frac{7}{15} \left[ \frac{2}{15} \right]$$

③  $\frac{5}{4} - \frac{5}{6}$

$$\frac{5}{4} - \frac{5}{6} = \frac{15}{12} - \frac{10}{12} = \frac{5}{12}$$

$$\frac{5}{12}$$

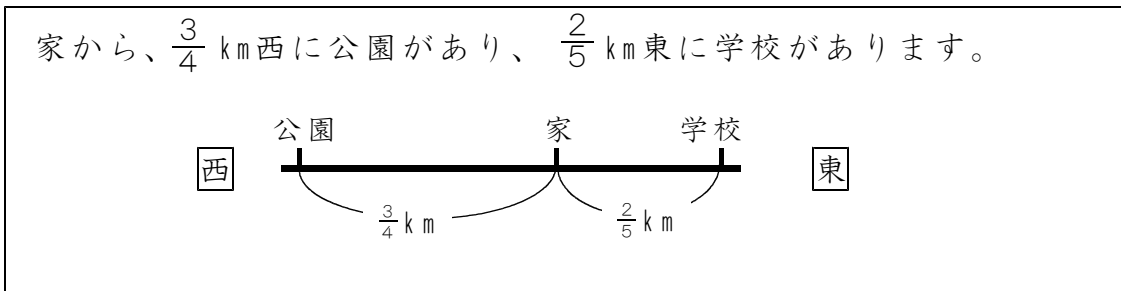
④  $\frac{11}{10} - \frac{14}{25}$

$$\frac{11}{10} - \frac{14}{25} = \frac{55}{50} - \frac{28}{50} = \frac{27}{50}$$

$$\frac{27}{50}$$

3

次の問題に答えましょう。



(1) 公園から学校までは、何kmありますか。

$$\begin{aligned} \frac{3}{4} + \frac{2}{5} &= \frac{15}{20} + \frac{8}{20} \\ &= \frac{23}{20} \left[ 1\frac{3}{20} \right] \end{aligned}$$

式  $\frac{3}{4} + \frac{2}{5}$

答え  $\frac{23}{20}$  km  $\left[ 1\frac{3}{20}$  km  $\right]$

(2) 家から公園までのきょりと家から学校までのきょりでは、どちらがどれだけ長いですか。

$$\begin{aligned} \frac{3}{4} - \frac{2}{5} &= \frac{15}{20} - \frac{8}{20} \\ &= \frac{7}{20} \end{aligned}$$

まず、通分して、どちらが大きいかを確認してから、計算しましょう。

答え 家から公園までのきょりの方が  $\frac{7}{20}$  km 長い。